

事務概要

令和6年度



円月島（白浜町）

和歌山県西牟婁振興局地域づくり部

目次

概況	-----	1
1. 所在地	-----	1
2. 管内市町の概要	-----	1
地域づくり部組織図	-----	2
所掌事務	-----	3
総務県民課	-----	4
総務グループ	-----	4
1. 選挙関係	-----	4
2. 庁舎等管理	-----	5
3. 物品調達事務	-----	5
人権・県民グループ	-----	6
1. 人権	-----	6
2. 県民相談	-----	8
3. 文化振興	-----	8
4. 交通安全対策	-----	8
5. パスポート	-----	9
6. 西牟婁地方子ども会連絡会	-----	9
7. 西牟婁地域活動連絡協議会	-----	9
8. 青少年対策	-----	10
(1) 西牟婁地方青少年対策本部	-----	10
(2) 西牟婁地方青少年育成市町民会議連絡協議会	-----	10
9. 男女共同参画	-----	11

地域づくり課	-----	14
地域振興・防災グループ	-----	14
1. 地域振興	-----	14
(1) 地域づくり等地域振興対策	-----	14
(2) 過疎集落の活性化対策	-----	17
(3) 移住・定住交流推進対策	-----	18
(4) 魅力的な景観まちづくりの推進・まちの賑わい空間創出プロジェクト	-----	19
(5) 地域公共交通に関すること	-----	19
(6) こども食堂	-----	20
(7) 行政DXの推進	-----	20
(8) 脱炭素の推進	-----	20
2. 防災	-----	21
(1) 職員の防災体制	-----	21
(2) 防災研修・防災訓練	-----	21
(3) わかやま防災カパワーアップ補助事業	-----	21
3. 消防	-----	23
4. 危機管理	-----	23
県職員の防災体制表（西牟婁管内）	-----	24
産業振興グループ	-----	25
1. 商工業	-----	25
(1) 商工会・商工会議所	-----	25
(2) 小規模事業経営支援事業	-----	25
2. 県産品のブランド推進	-----	27
3. 観光	-----	28
(1) 県全体の取り組みについて	-----	28
(2) 南紀エリア独自の取り組みについて	-----	30
(3) 南紀白浜空港の利用促進	-----	32
4. 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の概況	-----	33
(1) 和歌山県世界遺産条例	-----	34
(2) 世界遺産マスター	-----	34
(3) 世界遺産関係関連事業	-----	34
5. 南紀熊野ジオパークの取組	-----	36
6. スポーツ合宿誘致	-----	37
7. 大阪・関西万博	-----	38

■概況

当部が所管する田辺・西牟婁地域は、田辺市、西牟婁郡（白浜町、上富田町、すさみ町）の1市3町で、面積は合わせて約 1,460 km²あり、和歌山県全体の約31%を占めています。

海岸部は黒潮の影響を受け年間を通じて温暖な一方、山間部は紀伊山脈（きいさんみゃく）を中核とする山岳地帯となっており、標高 1,372メートルに達する護摩壇山（ごまだんざん）周辺では冬季に積雪や樹氷がみられるなど、変化に富んだ気候となっています。

道路網は、海岸線に沿って国道42号が通り、並行して近畿自動車道紀勢線が整備されています。平成27年8月には、田辺～すさみ区間が開通、令和3年12月には、印南区間まで4車線化されました。現在は印南から南紀田辺の区間で4車線化工事が行われています。山間部には田辺市街地と本宮方面を結ぶ国道311号や、本宮と新宮を結ぶ国道168号、紀伊半島を横断する国道425号等が縦横に通っています。

鉄道は、紀伊半島の海岸部を JR 紀勢本線が走り、新大阪駅と白浜駅を「特急くろしお」が約2時間30分で結んでいます。また、白浜町の熊野白浜リゾート空港（正式名称：南紀白浜空港）からは、ジェット機が東京へ1日3便就航しており、羽田空港まで約75分となっています。

管内は古くから観光地として有名で、リアス海岸の変化に富んだ海岸線と、紀州・木の国の森林で知られる山なみを背景に、本宮、白浜、龍神など各地の温泉や、海・山・川でのアウトドアスポーツを楽しむ観光客で年間を通じてにぎわっています。

特に、平成16年に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」は、世界でも珍しい「文化的景観」で知られ、古道歩きを楽しむ海外からの観光客も年々増加しています。令和6年7月7日には登録20周年を迎え、様々な特別企画や地域のPRイベントが実施されています。



1. 所在地

西牟婁振興局地域づくり部
田辺市朝日ヶ丘23-1
西牟婁総合庁舎3階

2. 管内市町の概要

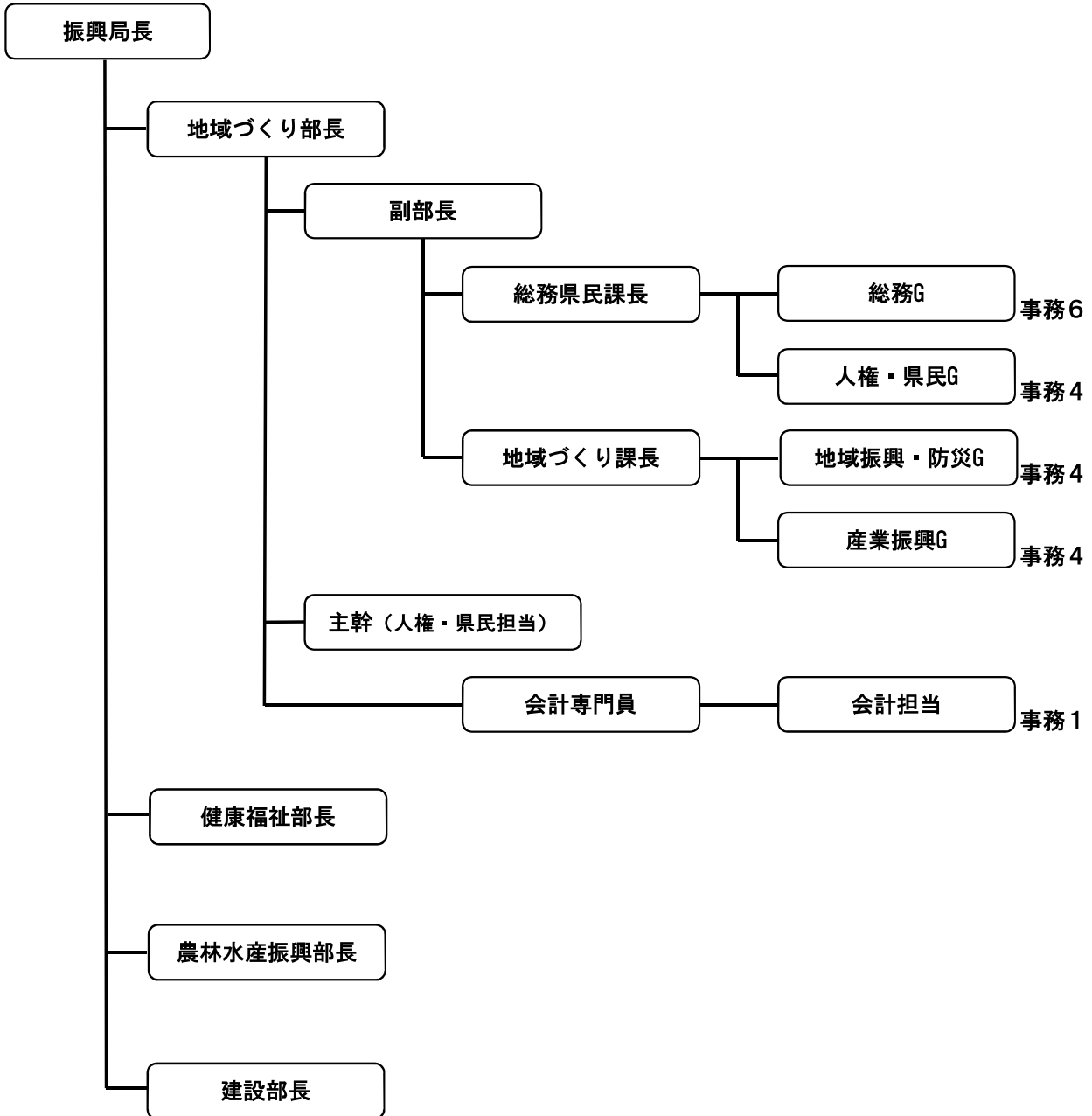
市町名	人口（人）			世帯数 （世帯）	面積 （km ² ）
	男	女	計		
田辺市	32,165	36,283	68,448	34,865	1026.89
白浜町	9,557	10,604	20,161	11,106	200.99
上富田町	7,520	8,200	15,720	7,530	57.37
すさみ町	1,739	1,868	3,607	2,033	174.45
管内合計	50,981	56,955	107,936	55,534	1459.72

出展：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」令和6年1月1日現在

国土交通省国土地理院「全国市町村別面積調」令和5年10月1日現在

地域づくり部 組織図

(R6.4.1現在)



<所掌事務>

課名	グループ名	主な所掌事務
総務県民課	総務グループ	公職選挙法に関すること 庁舎及び職員住宅の管理に関すること 公有財産の維持管理に関すること 地域づくり部及び農林水産振興部の予算の経理及び契約に関すること 物品の調達、支出事務その他の庶務事務に関すること 職員の給与及び手当、健康管理に関すること 叙勲、表彰（地方自治功労）に関すること
	人権・県民グループ	人権行政・啓発に関すること ジェンダー平等の推進に関すること 交通安全の対策及び安全・安心まちづくりに関すること 消費者行政及び移動県民相談に関すること 青少年の健全育成及びジュニアリーダー養成に関すること 子ども会連絡会及び地域活動連絡協議会に関すること NPO・県民運動に関すること 宗教法人に関すること 旅券事務及び県証紙の販売に関すること 文化の振興及び国際交流に関すること 南方熊楠記念館・顕彰館に関すること
	会計担当	振興局及び管内各機関の会計事務に関すること ※所管機関 西牟婁振興局各部、紀南県税事務所、紀南児童相談所、 田辺産業技術専門学院、紀南教育事務所、県立学校（8校）、 教育センター学びの丘、田辺警察署、白浜警察署
地域づくり課	地域振興・防災グループ	まちづくりに関すること タウンミーティングに関すること 移住交流・定住推進に関すること 地域おこし協力隊に関すること 振興局地域づくり支援事業に関すること 振興局地域課題解決促進事業に関すること デジタル田園都市国家構想交付金に関すること こども食堂に関すること 地域づくり等地域の振興に関すること 過疎集落再生活活性化支援事業に関すること 地域公共交通に関すること 行政DXの推進に係る市町村への支援に関すること 市町における脱炭素の推進業務に関すること 防災対策に関すること 危機管理・国民保護に関すること 消防に関すること 叙勲、表彰（消防関係）に関すること
	産業振興グループ	地域情報の収集に関すること 商工振興に関すること 企業誘致に関すること 雇用促進に関すること 地方改善施設整備事業（大型共同作業所）に関すること 人権施策推進協議会雇用部会に関すること 県産品のブランド推進に関すること 観光振興に関すること 南紀エリア観光推進実行委員会に関すること ワーケーションに関すること 旅行業登録等の許可に関すること 広報広聴に関すること 振興局ホームページ管理に関すること 熊野白浜リゾート空港利用促進に関すること 南紀熊野ジオパークに関すること スポーツ合宿誘致推進に関すること 大阪・関西万博、新総合計画策定に関すること

■総務県民課

○総務グループ

1. 選挙関係

(1) 選挙事務

和歌山県選挙管理委員会事務局西牟婁分局として、国政選挙、知事選挙、県議会議員選挙等の選挙関係事務や、政治資金規正法の規定に基づく政治団体の設立・異動・解散の届や収支報告書の受理等の事務を行っています。

また、管内市町の各選挙管理委員会からの質疑に対する回答や、各種照会・回答、報告等の取りまとめを行っています。

(2) 選挙出前講座

選挙の仕組みや重要性を学習することにより、政治・選挙についての関心を高め、社会参画への意識向上を図ることを目的に、小学校・中学校・高等学校等を対象に選挙出前講座を実施しています。

令和6年度は、税に関する興味・関心を高めることを目的に税務署職員が小学校・中学校・高等学校等へ出向いて行う「租税教室」と共同で実施しており、例年に比べて多くの学校から申し込みをいただいています。

◆講座の実施状況

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（予定）
田辺高等学校 3年 (R3.12.16)	熊野高等学校 3年 (R4.10.12) 田辺高等学校 3年 (R4.12.21)	田辺高等学校 3年 (R5.12.18)	すさみ中学校 3年 (R6.6.27) 龍神中学校 3年 (R6.7.5) 市ノ瀬小学校 6年 (R6.9.12) 高雄中学校 3年 (R6.9.17) 中辺路中学校 全校 (R6.12.12 予定)

(3) 和歌山県明るい選挙啓発ポスター作品展示会

児童・生徒が描いた明るい選挙の啓発ポスターを展示し、明るい選挙推進運動の一助とするため、例年2月ごろ田辺市で展示会を開催しています。

田辺会場では、委員長賞・入選作品（海南市の応募作品を除く。）・田辺市の佳作等を掲示しています。



2. 庁舎等管理

(1) 西牟婁総合庁舎の維持管理

西牟婁総合庁舎は本館（エレベータ棟を含む）、車庫棟、犬舎、倉庫・倉庫会議室棟で構成されています。本館は昭和49年3月31日に建築されたもので、平成20年12月には耐震改修を行っておりますが、全体的に老朽化が進んでおり、各種設備の修繕が必要な時期となっています。令和6年度は、老朽化していた全館空調機の大規模修繕を行いました。（27,234千円）

また、建物の維持管理に必要な業務については、専門業者に委託して実施しています。

◆保守点検（法定点検）業務

業務名	頻度
浄化槽の維持管理業務	2週間に1回
エレベーター保守点検	毎月1回
自家用電気設備点検	2か月に1回
空気環境測定業務	2か月に1回
消防設備保守点検	年2回
冷暖房設備保守点検	年2回
害虫駆除業務	年2回
貯水槽の水質検査業務	年2回
貯水槽清掃業務	年1回
地下タンク貯蔵所点検	年1回

その他、電話交換業務、庁舎警備業務、ゴミ処理業務、庁舎清掃業務、樹木剪定等を委託して実施しています。

(2) 西牟婁職員住宅の維持管理

西牟婁職員住宅の保守点検（法定点検）として、浄化槽の維持管理業務を年4回、エレベーター保守点検を2か月に1回、消防設備保守点検を年2回、貯水槽の水質検査業務及び清掃業務を年1回、専門業者に委託して実施しています。

3. 物品調達事務

西牟婁振興局及び管内各機関の物品調達事務を集中して行っています。

◆所管する所属名

振興局内	かい等	学校等
西牟婁振興局地域づくり部	防災航空センター	紀南教育事務所
西牟婁振興局農林水産振興部	消費生活センター紀南支所	教育センター学びの丘
西牟婁振興局健康福祉部	紀南児童相談所	田辺中学校
西牟婁振興局建設部	田辺産業技術専門学院	南部高等学校
紀南県税事務所	世界遺産センター	田辺高等学校
警 察	林業試験場	田辺工業高等学校
田辺警察署	農林大学校林業研修部（上富田）	神島高等学校
白浜警察署	紀南家畜保健衛生所	熊野高等学校
		南紀高等学校
		南紀はまゆう支援学校
		紀南図書館

〇人権・県民グループ

1. 人権

県では、平成14年4月に「和歌山県人権尊重の社会づくり条例」が、平成16年8月には「和歌山県人権施策基本方針」が策定（令和2年3月改訂）され、人権施策の推進に取り組んでいます。また、令和2年3月には、「和歌山県部落差別の解消の推進に関する条例」が施行され、引き続き部落差別の解消の推進に取り組んでいるところです。

(1) 同和運動推進月間（11月1日～30日）

令和5年度は、下記のとおり啓発活動を行いました。

実施日	実施場所
11月2日	株式会社オークワ パピリオンシティ田辺店

(2) 人権を考える強調月間（11月11日～12月10日）

令和5年度は、下記のとおり啓発活動を行いました。

実施日	実施場所
11月13日	ディスカウントストア プライスカット下万呂店

(3) 和歌山県人権尊重の社会づくり協定

和歌山県人権尊重の社会づくり条例の理念に則り、すべての人の人権が尊重される豊かな社会を実現することを目的とし、県が人権尊重の社会づくりに取り組む企業及び団体と、和歌山県人権尊重の社会づくり協定を締結しています。県内の協定締結企業・団体等数は387団体、うち西牟婁管内は73団体（令和6年3月末）となっています。

令和5年度 新規協定締結企業・団体（12企業・団体）

田辺市（7企業・団体）

株式会社初山	株式会社山長商店
社会福祉法人中辺路白百合学園	東宝建設株式会社
有限会社銀ちろ	和歌山電工株式会社
ワシン建設株式会社	

白浜町（4企業・団体）

一般社団法人み・ゆーじ	株式会社日置川みらい館
社会福祉法人白浜コスモス福祉会	有限会社昭和自動車整備工場

上富田町（1企業）

株式会社ヤマヨテクスタイル

令和4年度までの西牟婁管内 協定締結企業・団体（61企業・団体）

田辺市（37企業・団体）

会津保育所	一般財団法人龍神村開発公社
大塔村商工会	オフィスメイト株式会社

学校法人日本聖公会田辺学園	株式会社裏地工務店
株式会社梅屋	株式会社蒲田嵩商店
株式会社タチバナ	株式会社双美商会
株式会社丸山組	株式会社モリカワ
亀の井ホテル 紀伊田辺	紀南農業協同組合
社会福祉法人上秋津福祉会	社会福祉法人田辺市社会福祉協議会
社会福祉法人田辺市社会福祉事業団	社会福祉法人南紀のぞみ会
社会福祉法人ふたば福祉会	社会福祉法人やおき福祉会
田辺商工会議所	テクノ富貴株式会社
東新木材株式会社	特定非営利活動法人かたつむりの会
特定非営利活動法人市民活動フォーラム田辺	特定非営利活動法人はまゆう作業所
中田食品株式会社	中辺路町商工会
南紀みらい株式会社	本宮町商工会
丸長食品加工株式会社	牟婁商工会
有限会社紀州うめまさ	有限会社大都環境サービス
龍神観光株式会社	龍神自動車株式会社
龍神村商工会	

白浜町（11企業・団体）

一般社団法人南紀州交流公社	株式会社イクロス
株式会社白浜エンタープライズ	株式会社ラカン
クオリティソフト株式会社	社会福祉法人堅田保育園
社会福祉法人紀伊の郷	社会福祉法人白浜町社会福祉協議会
社会福祉法人南紀白浜福祉会	白浜町商工会
日置川町商工会	

上富田町（10企業・団体）

学校法人聖ヨセフ学園	株式会社カナセ
株式会社キイテック	株式会社マージネット
上富田町商工会	社会福祉法人上富田町社会福祉協議会
社会福祉法人神愛会	社会福祉法人和歌山県福祉事業団
プラム食品株式会社	有限会社アクセス

すさみ町（3団体）

社会福祉法人すさみ町社会福祉協議会	社会福祉法人すさみ福祉会
すさみ町商工会	

2. 県民相談

県民の皆様が日常生活で抱えておられる民事上の問題や、相続・離婚などの家族に関する問題、行政に関する困りごとや交通事故に関する相談をお受けするとともに、適切な相談窓口を紹介しています。（令和5年度相談件数：田辺・西牟婁管内89件／県全体1,806件）

なお、各振興局内で県民生活課が県民からの様々な相談を受けるため移動県民相談（弁護士相談）を年3回実施しており、人権・県民グループでは受付や相談場所の確保等のサポートをしています。

3. 文化振興

地域の文化振興を図るため、県民や各市町に対し、県内外の文化事業を種々紹介し、啓発・広報しています。また、和歌山県美術展覧会及び和歌山県ジュニア美術展覧会（「県展」及び「ジュニア県展」）の地方展が毎年管内で開かれ、優れた作品を県民に紹介、鑑賞する場を設け、県民のさらなる創作意欲の向上と文化振興を図っています。

令和5年度の管内地方展は、「上富田展」を12月2日（土）～7日（木）に上富田文化会館で開催しました。また、令和6年度の管内地方展は、「上富田展」を11月13日（水）～17日（日）に上富田文化会館で開催を予定しています。

4. 交通安全対策

交通安全運動の推進について、市町・交通安全機関及び各種団体と連携しながら、春、夏、秋、年末の各期に交通安全運動期間を設け、事故防止キャンペーンを展開するほか、田辺・白浜警察署、交通指導員会、交通安全協会、各機関、団体の協力を得て、交通事故防止の実践活動を行っています。

推進団体として、田辺周辺交通指導員会連絡協議会、交通事故をなくする西牟婁郡町民運動連絡協議会があります。



田辺周辺交通指導員会連絡協議会会員数
(令和6年4月1日現在)

	市町名	会員数(人)
管内	田辺市	121
	白浜町	30
	上富田町	18
	すさみ町	29
	小計	198
管外	みなべ町	75
	合計	273



交通指導員新任者研修

5. パスポート

各振興局(海草を除く)総務県民課において、旅券(パスポート)の申請受付、交付事務を行っています。令和5年のパスポート申請件数は、振興局の中では那賀振興局に次いで2番目に多い件数になっています。また、令和6年1月～6月の申請件数は805件で、昨年の同時期の申請件数から84件増加しています。

旅券(パスポート)申請件数の推移 (件)

	令和元年	2年	3年	4年	5年
西牟婁振興局	2,265	510	131	377	1,560
県全体	25,238	5,847	1,731	4,687	17,119

6. 西牟婁地方子ども会連絡会

西牟婁地方の子どもの健全な育成を願い、親睦、交流を図ることを目的に発足しました。

本会は、田辺市子どもクラブ育成協議会及び西牟婁郡地域活動連絡協議会並びに西牟婁地方ジュニアリーダークラブ・ドルフィンの会員をもって構成されています。

主な事業として、「ドッジボール大会」、小学4・5・6年生を対象にウォークラリー等を行う「アドベンチャー」があります。また、近年、児童数の減少等により、ドッジボールに参加できない子どもクラブや地区が増えているため、令和4年度より、少人数でも参加できるニュースポーツわいわい体験交流会を実施しています。さらに、中学生・高校生のジュニアリーダーの育成に力を注いでいます。ジュニアリーダーたちは、様々な行事に参加し、運営補助を行うとともに、自分たちで企画・運営を行っています。

令和5年度の主な事業

事業	日程	場所
西牟婁地方子ども会連絡会第26回ドッジボール大会	7月30日(日)	白浜町立総合体育館
地域子ども集団親睦交流スポーツ大会(県ドッジボール大会)	8月19日(土)	白浜町立総合体育館
ニュースポーツわいわい体験交流会	11月5日(日)	しらとり体育館
アドベンチャー2023	11月19日(日)	新庄総合公園



ドッジボール大会



アドベンチャー2023



ニュースポーツ
わいわい体験交流会

7. 西牟婁郡地域活動連絡協議会

西牟婁郡内の子どもクラブの連合体です。

各市町において、各子どもクラブの活動が活発に行われていますが、本協議会は、主に西牟婁地方子ども会連絡会の事業などを通して活動しています。

なお、田辺市内の子どもクラブの連合体は、田辺市子どもクラブ育成協議会となります。

西牟婁管内の子どもクラブの数と加入者数（令和6年4月1日現在）

市町名	子どもクラブ	
	クラブ数	人数(人)
白浜町	12	222
上富田町	12	287
すさみ町	5	101
(郡計)	29	610
田辺市	68	1,425
合計	97	2,035

8. 青少年対策

(1) 西牟婁地方青少年対策本部

西牟婁地方青少年対策本部は、青少年対策に関して、西牟婁振興局、田辺保健所、田辺警察署、白浜警察署の各機関が協力体制をとり、青少年の健全育成及び非行防止の推進を任務としている団体です。具体的には、令和5年7月1日から8月31日までの「夏の子供を守る運動」期間中には、庁舎内へののぼりの設置や広報車による啓発活動を実施しています。また、学校・警察・センター連絡協議会の会議に参加し、青少年を取り巻く現状について共有するとともに、街頭啓発や祭りの巡視などを行い、青少年の非行防止に努めています。

(2) 西牟婁地方青少年育成市町民会議連絡協議会

西牟婁地方青少年育成市町民会議連絡協議会は、青少年の健全育成のため、西牟婁地方の各市町民会議相互の連絡調整を図るとともに、市町民会議の力を結集して、心豊かな青少年を育てるための活動を展開しています。少年メッセージの取組について、郷土を担う若い世代の育成を目指すため、管内の中学生が日常生活での実体験などを通して得た自分の考えや将来の夢を作文で表現し、各中学校から推薦された作品（令和5年度は54作品）の中から原稿審査で作品を選出し、令和5年6月1日の西牟婁地方発表審査会で発表しました。この審査会で選ばれた2作品について、県大会に出場し、発表しました。

また、令和3年度から「体験の風をおこそう」運動推進事業の一環として、紀州材を用いた工作教室「西牟婁地方 木の国わかやま木育学校」を年に1回開催しています。

年度 校数、人数	R 4	R 5	R 6
	参加校数（校）	10	13
参加人数（人）	1079	1034	1022



少年メッセージ

年度 参加者	R 3	R 4	R 5
	児童（人）	36	60
保護者（人）	32	54	47
合計（人）	68	114	94



木の国わかやま木育学校

9. 男女共同参画

すべての人が職場で、学校で、家庭で、地域で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現することは、これからの社会を形成していく上で最も重要なことです。

県では、誰もがジェンダーにかかわらず多様な生き方ができる社会を実現するため、様々な取組を行っています。

(1) 男女共同参画週間（6月23日～29日）

令和6年度は、下記のとおり啓発活動を行いました。

実施日	実施場所
6月26日	株式会社オークワ パビリオンシティ田辺店
6月28日	JR紀伊田辺駅前

(2) 女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）

令和5年度は、下記のとおり啓発活動を行いました。

実施日	実施場所
11月16日	JR紀伊田辺駅前
11月20日	株式会社オークワ パビリオンシティ田辺店

(3) 女性活躍企業同盟

平成29年度から女性の継続就業やキャリア形成に率先して取り組む企業及び団体を「女性活躍企業同盟」として組織化し、同盟参加企業等間の交流を通じて取組の充実を図ることで、女性が活躍できる環境整備を促進することを目的に参加企業等を募集しています。

県内の参加企業・団体等数は950団体で、うち西牟婁管内は137団体（令和6年3月末）となっています。

令和5年度 新規同盟参加企業・団体（6企業・団体）

田辺市（2企業・団体）

株式会社梅屋	社会福祉法人紀成福祉会
--------	-------------

白浜町（2企業・団体）

一般社団法人み・ゆーじ	株式会社日置川みらい館
-------------	-------------

上富田町（2企業・団体）

アンドワーカー協同組合	株式会社ぷらすわん
-------------	-----------

令和4年度までの西牟婁管内 同盟参加企業・団体（131企業・団体）

田辺市（82企業・団体）

会津保育所	一般財団法人龍神村開発公社
一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー	大塔村商工会
オフィスメイト株式会社	学校法人日本聖公会田辺学園シオン幼稚園
学校法人めぐみ学園	株式会社伊藤組
株式会社裏地工務店	株式会社尾花組
株式会社蒲田嵩商店	株式会社共栄建設工業

株式会社サンコーテック	株式会社ソイフ
株式会社第一テック	株式会社たかす
株式会社仲建設	株式会社日本政策金融公庫田辺支店
株式会社初山	株式会社堀組
株式会社丸山組	株式会社モリカワ
紀南農業協同組合	公益社団法人龍神観光協会
公立紀南病院組合	こくみん共済 coop 和歌山推進本部田辺支所
社会福祉法人大塔あすなろ会	社会福祉法人上秋津福祉会
社会福祉法人田辺市社会福祉協議会	社会福祉法人田辺市社会福祉事業団
社会福祉法人南紀のぞみ会	社会福祉法人浜木綿会
社会福祉法人ふたば福祉会	社会福祉法人やおき福祉会
菅根測量株式会社	第一生命保険株式会社和歌山支社田辺営業オフィス
田辺市	田辺観光協会
田辺商工会議所	田辺ダイハツ販売株式会社
テクノ富貴株式会社	特定非営利活動法人ハートツリー
特定非営利活動法人はまゆう作業所	独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター
中田食品株式会社	中辺路町商工会
南紀みらい株式会社	日本郵便株式会社上秋津郵便局
日本郵便株式会社請川郵便局	日本郵便株式会社大塔郵便局
日本郵便株式会社上山路郵便局	日本郵便株式会社上芳養郵便局
日本郵便株式会社下山路郵便局	日本郵便株式会社田辺朝日ヶ丘郵便局
日本郵便株式会社田辺江川郵便局	日本郵便株式会社田辺駅前郵便局
日本郵便株式会社田辺神子浜郵便局	日本郵便株式会社田辺神島台郵便局
日本郵便株式会社田辺新庄郵便局	日本郵便株式会社田辺芳養郵便局
日本郵便株式会社田辺湊郵便局	日本郵便株式会社田辺目良郵便局
日本郵便株式会社近露郵便局	日本郵便株式会社中山路郵便局
日本郵便株式会社中辺路郵便局	日本郵便株式会社萩郵便局
日本郵便株式会社平瀬郵便局	日本郵便株式会社二川郵便局
日本郵便株式会社本宮郵便局	日本郵便株式会社三川郵便局
日本郵便株式会社三栖郵便局	日本郵便株式会社湯峰郵便局
日本郵便株式会社龍神郵便局	BANKAN 田辺店
本宮町商工会	本宮町森林組合
丸長食品加工株式会社	牟婁商工会
有限会社紀州うめまさ	龍神観光株式会社
龍神自動車株式会社	龍神村商工会

白浜町（30企業・団体）

一般財団法人和歌山県教育互助会白浜保養施設牟婁	株式会社アワーズ
株式会社イクロス パル白浜	株式会社きらり福祉会
株式会社白浜エンタープライズ INFINITO HOTEL&SPA NANKI-SHIRAHAMA	紀南地方児童福祉施設組合
紀南地方老人福祉施設組合	クオリティソフト株式会社
公益財団法人白浜医療福祉財団白浜はまゆう病院	社会福祉法人堅田保育園
社会福祉法人紀伊の郷	社会福祉法人白浜コスモス福祉会
社会福祉法人白浜町社会福祉協議会	社会福祉法人南紀白浜福祉会
白浜温泉旅館協同組合	白浜ガス株式会社
白浜第一交通株式会社	白浜町
白浜町商工会	日本郵便株式会社安居郵便局
日本郵便株式会社市鹿野郵便局	日本郵便株式会社白浜駅前郵便局
日本郵便株式会社白浜温泉郵便局	日本郵便株式会社白浜郵便局
日本郵便株式会社椿郵便局	日本郵便株式会社富田郵便局
日本郵便株式会社日置川郵便局	日置川開発株式会社
日置川町商工会	福原ニードル株式会社

上富田町（12企業・団体）

学校法人聖ヨセフ学園岩田幼稚園	株式会社NTN紀南製作所
株式会社マーシネット	株式会社ヤマヨテクスタイル
上富田町	上富田町商工会
社会福祉法人上富田町社会福祉協議会	社会福祉法人神愛会
社会福祉法人和歌山県福祉事業団	日本郵便株式会社岩田郵便局
日本郵便株式会社上富田郵便局	有限会社アクセス

すさみ町（7企業・団体）

社会福祉法人すさみ町社会福祉協議会	社会福祉法人すさみ福祉会
すさみ町	すさみ町商工会
日本郵便株式会社江住郵便局	日本郵便株式会社佐本郵便局
日本郵便株式会社すさみ郵便局	

《パートナーシップ宣言制度》

一方又は双方が性的少数者であるお二人が、互いを人生のパートナーとし、日常の生活において相互に協力しあうことを約束する宣誓を行った方々に、県が宣誓したことを証明する「パートナーシップ宣誓証明書受領証」を交付する制度を、令和6年2月から開始しています。

■地域づくり課

○地域振興・防災グループ

1. 地域振興

本県は、海、山、川などの豊かな自然と世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される貴重な歴史文化、さらに多彩な食材や温泉にも恵まれ、古くから観光地として多くの観光客に親しまれてきました。

このような優れた歴史・文化資産や豊かな自然環境を、県民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら次世代へ大切に引き継いでいくとともに、地域資源や新たな観光資源を掘り起こし磨くことで、県勢発展に向け活用することを推進しています。そのため、県では、地域づくり等地域振興につながる様々な事業を実施しています。また過疎集落における生活機能の維持や活性化、移住・定住や二地域居住による人の流れを創出することで、活性化につなげる取組も実施しています。

(1) 地域づくり等地域振興対策

I 振興局地域づくり支援事業

地域の資源や特色を生かした個性豊かで活力ある地域づくりを推進するため、以下に掲げる市町村や民間団体等が行う地域づくりの取組を支援しています。

<補助対象事業>

補助対象事業	内 容
地域文化育成事業	地域伝統文化の保存・継承並びに新しい文化の創出・定着事業
地域資源活用事業	自然・歴史・文化等の地域固有の資源を活用した、個性的で魅力のある地域づくり活動や、地域外への情報発信等を行う事業
地域交流事業	交流人口の増加を図るためのイベントや住民参加型イベントを実施する事業
UJIターン促進事業	若者のUJIターンを促進するための事業
地域情報化推進事業	地域住民を対象とした情報化推進事業
ひとづくり推進事業	地域づくりリーダーの養成や観光語り部の育成などの人材育成事業

<補助率>

1/2

<補助上限額>

1,000千円

<採択結果について>

◆令和4年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
近野もてなし力向上委員会	水辺の交流もてなしプロジェクト	中辺路町近露地域の交流人口創出のため、鮎の友釣り体験教室を開催するとともに、教室の指導者育成に取り組んだ。	788千円	352千円
紀南アーバンスポーツ普及協議会	紀南スケートボード・BMX体験交流会	田辺市扇ヶ浜スケートパークの周知及び競技の普及を目的として、子供から大人までを対象とした競技体験交流会とプロスケートボーダー・プロライダーによるショーを実施した。	2,266千円	902千円
すさみ線香水車たまぐすの会	水力でにぎわい創出!すさみ水車塾プロジェクト	すさみ町の魅力や線香水車の文化的価値を広く発信するため、「すさみ線香水車」の組立てワークショップや大学教授による講演会を実施した。	921千円	460千円

魅力発見！海南を撮りたい会	映画「紀州騎士～きしゅうでないとお！～」誰一人取り残さない社会を目指す！和歌山の大自然で未来を語るワークショップ	西牟婁地域の交流人口増加及び魅力発信を目的として、映画のロケ地である田辺市等で映画出演者による講演会及びCM制作ワークショップを実施した。	1,521 千円	643 千円
---------------	--	---	----------	--------

◆令和5年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
川添祭り Again2023 実行委員会	川添祭り Again2023	平成 28 年度まで実施されていた川添祭りを復活させ、伝統芸能の披露や工芸品、飲食ブースの出展などを実施することで川添地区及び日置川流域一体の魅力を発信した。	802 千円	338 千円
すさみ町	スサミガールズフィッシングスクール vol.0	すさみ町の関係人口創出のため、女性を対象にした釣り教室や教室参加者による未利用魚活用に関する情報発信に取り組んだ。	2,175 千円	676 千円
龍神植田杯争奪・高校生バレーボール大会実行委員会	龍神植田杯争奪・高校生バレーボール大会	田辺市及び周辺地域の交流人口増加を目的として、元バレーボール全日本男子代表監督である植田辰哉氏がその人脈を生かし、全国の男子高校バレーボール部を招聘し、地元高校との交流試合等を行った。	567 千円	283 千円
田辺商工会議所	happy プロジェクト～結～	結婚希望者に対して結婚相手を見つける出会いの場を提供する支援事業を実施した。	818 千円	406 千円
Nanki Shirahama NFT Festival 実行委員会	NFT 普及プロジェクト・地域創生事業	Web3 の先進地として白浜町を PR するため、クリエイターによるブース出展など Nanki Shirahama NFT Festival を実施した。	1,100 千円	329 千円

◆令和6年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	採択額
ビーチライフ in 田辺扇ヶ浜実行委員会	ビーチライフ in 田辺扇ヶ浜開催事業	田辺市扇ヶ浜の認知度向上及び周遊観光促進などを目的として、ビーチを活用した体験型イベント「ビーチライフ」を実施する。	4,000 千円	700 千円
龍の里づくり委員会	幻の熊野古道「奥辺路」復活プロジェクト	奥辺路を安心して楽しめる道として復活させるため、道普請の実施やマップの整備を行う。	500 千円	250 千円
わかやま 12 湯推進協議会	第 4 回 わかやま 12 湯サミット in 熊野本宮大社	和歌山県の温泉の素晴らしさを発信するため、世界遺産登録 20 周年の節目の年に熊野本宮大社を舞台に講演会を実施する。	1,729 千円	432 千円
ひきがわ歴史クラブ	日置川地域における文化財保存活用継承事業	日置川地域の文化財の保全及び魅力発信のため、会員を対象とした研修会や地域住民を対象としたウォークイベントを実施する。	650 千円	325 千円
(一社)すさみキャンパス	ALL すさみで本格的に取り組む「すさみの魅力発信」事業	すさみ町の魅力を発信するため、主に都市圏において、すさみ町の生業を伝える「すさみ生活美術展」やふるさと納税品の PR などを実施する。	1,900 千円	665 千円

※令和4年度及び令和5年度については、旧事業である「地域・ひと・まちづくり補助金」の採択実績

II わがまち元気プロジェクト支援事業

総合的な地域の活性化につなげるため、地域の資源を活用し農林漁業の振興や観光の振興等、さまざまな取組を組み合わせる活性化事業に取り組む市町村等を支援しています。

<補助対象事業>

先進事例調査及び研究・開発等プロジェクトの立ち上げ並びに PR の取組等であって、県の他の補助事業では対応が困難なソフト事業

<補助期間>

3年間

<補助上限額>

5,000千円または全体事業費の1/3のいずれか低い額

<採択結果について>

◆令和4年度

採択なし

◆令和5年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
紀南エリアサイクルツーリズム協議会	～自転車で熊野を一周～『クマイチ KUMAICHI』プロジェクト	「クマイチ」及びその魅力の発信並びに自転車で周遊するツーリズムの確立のため、クマイチ・スタンプラリーのツール制作や自転車フェスティバルへの出展等を行った。	12,544千円	3,000千円
梅酒ツーリズム事業実行委員会	紀州田辺を梅酒の聖地に！梅酒ツーリズムプロジェクト	梅酒をテーマとしたツーリズム及び観光コンテンツの造成を目的として、梅酒フェスティバルや紀州梅酒まつり等を開催した。	18,260千円	3,000千円

◆令和6年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	採択額
紀南エリアサイクルツーリズム協議会	～自転車で熊野を一周～『クマイチ KUMAICHI』プロジェクト	「クマイチ」及びその魅力の発信並びに自転車で周遊するツーリズムの確立のため、合宿用スポーツサイクリングのコース設計や自転車フェスティバルへの出展等を行う。	4,050千円	1,000千円
梅酒ツーリズム事業実行委員会	紀州田辺を梅酒の聖地に！梅酒ツーリズムプロジェクト	梅酒をテーマとしたツーリズム及び観光コンテンツの造成を目的として、梅酒テラスを活用したツアーの造成やインバウンド向けのモニタリングを実施する。	16,600千円	1,000千円

Ⅲ 未来を彩る花の森づくり事業

未来の景観資産となる花の名所を創造することにより地域活性化を図る団体等が行う以下に掲げる取組を支援しています。

<補助対象事業>

補助対象事業	内容
植栽事業	多くの人々が訪れるような眺望を創り、景観資産となる樹木を植栽する事業
環境整備事業	来訪者の増加を目的とした環境を整備する事業
交流推進事業	樹木に愛着を持ち、継続的に育成管理に関与することを目的としたイベントを実施する事業

<補助率>

10/10

<補助上限額>

予算の範囲内で知事が決定

<採択結果について>

◆令和4年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
龍神温泉の森をつくる会	未来を彩る花の郷づくり事業	地域の景観向上及び地域との交流推進を目的として、龍神温泉周辺地にクマノザクラ 700 本の植樹と地元小中学校でクマノザクラ授業の実施、地域住民を交えた植樹会を開催した。	5,925 千円	5,893 千円

◆令和5年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
龍神温泉の森をつくる会	未来を彩る花の森づくり事業	地域の景観向上及び地域との交流推進を目的として、龍神温泉周辺地にクマノザクラ 1,530 本、観賞植物 1,022 本の植樹と地域住民を交えた植樹会を開催した。	9,669 千円	9,647 千円

◆令和6年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	採択額
龍神温泉の森をつくる会	未来を彩る花の森づくり事業	地域の景観向上のため、龍神温泉周辺地にクマノザクラ 1,350 本と観賞植物 720 本を植樹する。	9,868 千円	9,868 千円

IV 振興局地域課題解決促進事業

個性豊かで活力ある地域づくりを推進することを目的とし、各振興局が市町村や地域住民と密接に関わる中でそれぞれの地域課題を把握し、解決に向けた独自の事業を振興局自らが実施します。

V わかやま地域おこし協力隊

持続可能な地域づくり・地域活性化のため、市町村単独の地域支援活動に加え、広域的観点から各エリアの課題に対処する人的体制の強化が必要であり、県内7つのエリアそれぞれの地域課題解決に一緒に取り組んでもらう人材として、地域おこし協力隊を募集しています。西牟婁振興局では、サイクリングルート“クマイチ”コンテンツの造成とその情報発信を主な地域課題とし、地域おこし協力隊、関係市町・団体と連携して課題解決に取り組みます。

(2) 過疎集落の活性化対策

過疎地域等では高齢化等により、集落機能の維持や存続が危ぶまれる集落が増加しているため、過疎集落等の維持及び活性化を図ることを目的として、個別の集落や市町村全体ではなく住民生活の一体性を重視した「ふるさと生活圏」単位で住民の主体性を活かした以下に掲げる取組を支援しています。

<補助対象事業>

スタートアップ支援型

補助対象事業	内 容	補助上限額 (補助率)
外部講師派遣	過疎集落再生・活性化支援事業を実施するにあたり、ワークショップ等を通じて外部講師に助言を求めることにより、持続性や質が高いものとするための取組	1,000 千円 (定額)
先進地視察	目的達成に資する効果的な手法を用いるため、先進地の視察を行う取組	
事前調査	地域の課題の現状を詳細に把握するための取組	

過疎集落再生・活性化支援型

補助対象事業	内 容	補助上限額 (補助率)
活動拠点の整備	ふるさと生活圏の再生・活性化に資する活動拠点を整備するために行う既存施設の内外装の改修及び設備の整備並びに耐震補強工事等	5,000 千円 (1/2)
医療・福祉対策	医療健康相談やリハビリの実施など、地域に密着した医療・福祉施策などの取組	5,000 千円 (定額)
生活必需品の確保	必要な時に必要なものが容易に入手できるよう、物品販売や移動販売の促進などの取組	
生活交通の確保	公共空白地域を解消するための、公共交通空白地有償運送などの取組	
地域産業の育成	独自資源の活用による産業おこしや伝統文化を活かした地域の取組	
移住・交流の推進	地域への移住促進及び交流人口増加のために行う移住体験事業や交流事業などの取組	

<採択結果について>

◆令和4年度
管内実績なし

◆令和5年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	補助金額
龍の里づくり委員会	「龍のむら」活性化プロジェクト～人がつながり、地域が光る～	過疎地「龍神村」の活性化のため、地域課題検討会、交流拠点施設の改修デザイン作成、情報発信ツールの製作を実施した。	2,575 千円	2,500 千円

◆令和6年度

団体名	補助事業名	事業内容	事業費	採択額
龍の里づくり委員会	「龍のむら」活性化プロジェクト～人がつながり、地域が光る～	過疎地「龍神村」の活性化のため、交流拠点施設の改修、飲食店ステッカーラリー、特産品を活かした新しい魅力フードの開発を実施する。	9,532 千円	5,000 千円
輝け三川	輝け三川 地域活性化事業	過疎地「三川地域」の活性化のため、交流拠点施設の改修、ワインブドウ栽培体験、耕作放棄地美化推進事業を実施する。	5,487 千円	5,000 千円

(3) 移住・定住交流推進対策

移住・定住や二地域居住の推進を図るため、市町村等と連携しながら、地域の魅力発信を行うとともに、移住希望者等に対する空き家の状況調査や家財処分、改修の支援、起業や農林水産業への就業の支援など移住後の生活支援を行うことにより、更に移住・定住を推進します。

<西牟婁振興局管内の移住者の状況>

移住定住施策に必要な基礎資料を得るため、各市町住民担当課窓口において転入者を対象にアンケート調査を随時実施。

令和5年度	田辺市	白浜町	上富田町	すさみ町	西牟婁管内計	県内計
アンケート回答数	153件	161件	88件	24件	426件	2,195件
移住者数(※)	78人	70人	26人	18人	192人	805人

※移住者数：アンケートにおいて5年以上定住の意思があると回答した県外からの転入者数。なお、家族での移住など、アンケート1件につき複数の移住者が含まれる場合があります。

<補助事業について>

補助金名		補助事業内容	補助上限 (補助率)	補助件数		
				R3	R4	R5
移住推進空き家 活用事業補助金	片付け事業	移住者が居住するために必要となる対象空き家の片付け（家財整理・撤去・処分活動）	80千円 (10/10)	4件	4件	4件
	改修事業	移住者が居住を目的として、生活するために必要な機能の一般的な改修・リフォーム	800千円 (2/3)	8件	15件	9件
既存住宅状況調査補助金（R4～）		県内に所在する空き家を対象とした建物の構造耐力上主要な部分等の劣化・不具合の状況を把握するための調査	50千円 (1/2)	—	5件	18件
移住者農林水産就業補助金		移住者が農林水産業に必要な設備等を整え県内で就業する事業	500千円 (10/10)	4件	1件	1件
移住者起業補助金		わかやま地域課題解決型起業支援補助金の採択を受けた移住者に対する上乗せ補助	1,000千円 (1/2)	0件	1件	3件

(4) 魅力的な景観まちづくりの推進・まちの賑わい空間創出プロジェクト

人口減少等による空き家・廃墟の増加など地域の魅力を低下させる要因について、管内市町の地域づくり、都市計画及び建設担当課と一緒に「まちづくり」の観点から対策を考え、魅力的な美しいまちづくりを進めています。

また、地域主体でまちの賑わいを創出するため、住民等のまちづくりへの機運を醸成し、まちづくりに取り組む市町村に対して勉強会の開催・アドバイザー派遣、セミナー開催の支援をしています。

(5) 地域公共交通に関すること

持続可能な地域公共交通の確保など、事業者や市町と連携しながら鉄道、路線バス等の利用促進等に取り組んでいます。

具体的な取り組みとしては、紀勢本線の白浜～新宮区間の利用促進のため、沿線市町村・県・JR西日本・和歌山大学による「紀勢本線活性化促進協議会新宮白浜区間部会」を令和4年度に設け、協議を年3～4回行っています。また、子どもたちの公共交通の利用を促すため、小学校で公共交通機関に関する授業を実施、さらに鉄道またはバス事業者と協力し、体験学習も行っています。

<小学校での公共交通機関に関する授業の様子>



(6) こども食堂

こどもの健やかな成長の促進を図るために、食事の提供を通じてこどもの居場所や地域における交流拠点としての機能が期待される場所を提供する団体について、こども食堂の取組・開設・運営を支援しています。

<和歌山こども食堂支援事業>

対象	補助内容	補助上限額 (補助率)	申請受付期間
新規開設	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂開設にあたっての設備及び備品購入費または設備改修費 食品衛生責任者養成講習会受講費 学習支援に要する参考書や備品等の購入費 多様な世代との交流に要する備品類の購入費 	600 千円 (10/10)	R6.5.20~R6.12.20
既存施設	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援に要する参考書や備品等の購入費 多様な世代との交流に要する備品類の購入費 	100 千円 (1/2)	

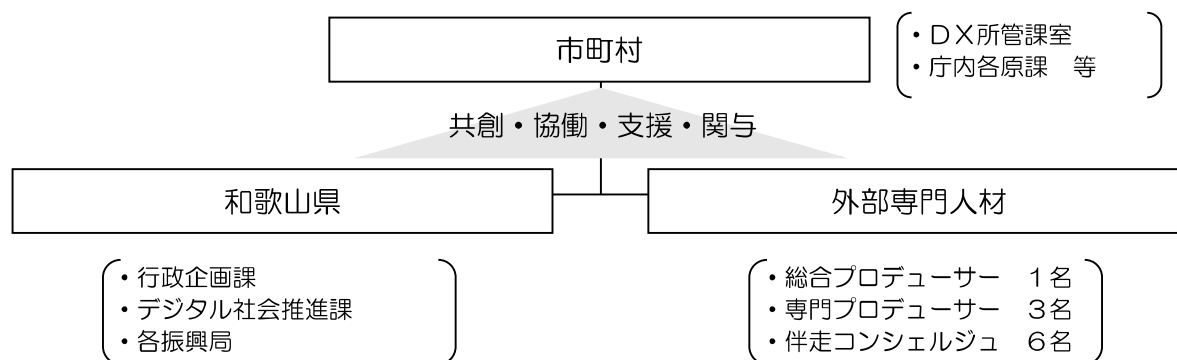
<わかやまこども食堂ネットワーク>

こども食堂の取組・開設・運営をサポートするため、和歌山県こども食堂応援ネットワーク（事務局：和歌山県社会福祉協議会）を立ち上げ、相談支援、情報提供、支援物資の配分・マッチング、コーディネーター派遣、交流会等の開催に取り組んでいます。

(7) 行政 DX の推進

DX 推進に係る市町村職員の認識共有・機運醸成を図り、現状把握と課題整理を行う場として、県が委託している DX 専門アドバイザーとともに月 1 回のよろず相談を自治体ごとにオンラインで実施しています。よろず相談以外にも、slack を利用し、チャットツールで常時専門アドバイザーと相談できるほか、迅速に情報共有が行える場を設け、市町の自立的取組を促進しています。

<取組のイメージ>



(8) 脱炭素の推進

令和5年8月に県庁が一体となって脱炭素に取り組み、市町村の取組を支援するため、「脱炭素庁内連絡会議」を設置。県として、2030年における目標(▲46%)を達成し、更には2050年カーボンニュートラル実現に向けて、重点対策加速化事業計画(※)を策定し、実施に向け取り組んでいます。また、市町村への伴走支援として地方公共団体実行計画(事務事業編)の策定や国支援策の採択に向けた説明会などを行っています。

※事業計画の特徴

- ① 和歌山県内で脱炭素の取組が進んでいない現状を踏まえ、まずは県が個人向け太陽光・蓄電池・省エネ機器の導入補助事業を実施し、ノウハウを蓄積。その後、県が市町村に対して補助要綱の作成支援や成功事例等のノウハウの提供を実施し、市町村を通じた補助事業へと移行することにより、各市町村における脱炭素の基盤構築につなげる。
- ② 県が太陽光発電設備等の購入を希望する住民を募集し、一括発注することで価格低減を促す共同購入事業を実施。
- ③ 県内企業が実施する CO2 排出量の見える化から削減計画策定までに要する経費の一部に対して単独補助を実施。

2. 防災

本県は、地形的・気象的な特性ゆえに、度重なる災害を経験し、多くの尊い人命を失ってきました。物的被害は元に戻すことはできても、失われた命は戻ることはありません。何よりも守らなければならないのは人命であり、「災害による犠牲者ゼロ」を実現するための防災・減災対策を実施しています。さらに、市町村における防災体制・対策の充実強化を図るため、市町村が行う地域防災対策事業等に対し、支援しています。

(1) 職員の防災体制

振興局管内の地方機関も含め、本庁に準じた防災体制をとっています。今年度の防災体制表は別紙のとおりとなっています。

(2) 防災研修・防災訓練

西牟婁振興局では、職員の防災体制構築のため、警戒体制等の発令時における当番業務の研修（防災当番部研修）、大規模地震等の災害発生時における支部の初動体制の確立のため行う職員研修（振興局職員防災研修）、国からの応援を受け入れる広域防災拠点の受援体制や運営に係る業務の研修（広域防災拠点要員研修）を実施しています。

また、振興局内各部の災害対応力向上を目的として、毎年度、発災直後の支部の立ち上げに至る連携、運営訓練（図上訓練）をロールプレイング方式により実施しています。

(3) わかやま防災力パワーアップ補助事業

市町村における防災体制・対策の充実強化を図るため、市町村が大規模災害の被害を軽減するため策定する地震防災対策に係る計画の減災目標を達成するために行う以下に掲げる取組を支援しています。

<補助対象事業>

補助対象事業	内 容	補助上限額 (補助率)
要配慮者支援 対策	家具等の固定金具購入費、感震ブレーカー購入費、戸別受信機・防災ラジオ・280MHz 帯電気通信業務用ページの購入費、取付工事費（新築に感震ブレーカーを設置する場合を除く。）	なし (1/2)
ブロック塀耐 震化促進	耐震性能のないブロック塀の改修経費及びフェンスの改修経費（ブロック塀撤去費用を含む。）	
津波対策等	避難場所の整備、避難誘導等の設置、避難標識の設置、簡易な避難路の整備、海拔表示板の設置等の整備（用地購入費及び整備避難路上の家屋等の撤去費用、維持・管理経費、整備に係る基本・実施設計経費を除く。）	
自主防災組織 の設置及び活 動促進	自主防災組織への資機材整備及び訓練	

防災意識の普及促進	ハザードマップの新規作成・大幅修正に係る費用及び住民参加型研修、講演会、訓練等	ハザードマップ作成は10,000千円、その他はなし (1/2)
地域防災拠点等施設整備	防災拠点施設や避難所の運営に必要な資機材等の整備、大規模災害時のヘリコプター夜間運航体制を整備するための可搬型照明設備、孤立集落対策としてのヘリポート整備事業に係る工事（敷地における整地、舗装、取付道路の設置等）	ヘリポート整備は1箇所7,000千円、その他はなし (1/2)
津波避難計画等策定支援	津波の浸水が想定される全19市町において、「和歌山県津波避難計画策定指針」に基づき、住民一人ひとりの避難方法を定めた「津波避難計画を策定するための、ワークショップ、地域ごとの津波避難計画策定	すさみ町は4,000千円、白浜町は5,000千円、その他は3,000千円 (1/2)
地震・津波災害からの復興計画の事前策定支援	地震・津波災害から迅速に復興するために策定する復興計画策定（復興まちづくりに関する専門家等への謝金や交通費、住民との話合いやシンポジウム開催等に係る会場借り上げ、復興まちづくりイメージ図等の図面作成、「市町村復興計画」の冊子作成）	なし (1/2)

<採択結果について>

◆令和4年度

団体名	事業内容	事業費	補助金額
田辺市	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、津波避難ビル看板設置、避難路整備、自主防資機材整備、地域防災拠点整備、事前復興計画策定支援	15,617千円	6,756千円
白浜町	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、避難路整備、避難誘導灯・標識設置、地域防災拠点整備	4,444千円	2,086千円
上富田町	家具転倒防止、地域防災拠点整備	470千円	234千円
すさみ町	避難誘導灯設置、自主防資機材整備、地域防災拠点整備、ブロック塀耐震化	6,941千円	2,915千円

◆令和5年度

団体名	事業内容	事業費	補助金額
田辺市	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、避難誘導灯設置、自主防資機材整備、避難訓練実施支援、地域防災拠点整備、事前復興計画策定支援	21,404千円	8,105千円
白浜町	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、避難路整備、避難誘導灯・標識設置、地域防災拠点整備	7,709千円	3,546千円
上富田町	感震ブレーカー設置、地域防災拠点整備	2,304千円	1,150千円
すさみ町	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、避難誘導灯設置、自主防資機材整備、津波ハザードマップ更新、地域防災拠点整備	12,271千円	5,840千円

◆令和6年度

団体名	事業内容	事業費	採択額
田辺市	家具転倒防止、戸別受信機設置、ブロック塀耐震化、避難路整備、自主防資機材整備、避難訓練実施支援、地域防災拠点整備	13,451千円	4,325千円
白浜町	家具転倒防止、感震ブレーカー設置、ブロック塀耐震化、戸別受信機設置、地域防災拠点整備、防災講演会実施支援、避難路整備	9,518千円	4,258千円
上富田町	家具転倒防止、感震ブレーカー設置、津波ハザードマップ更新	9,132千円	3,366千円
すさみ町	家具転倒防止、ブロック塀耐震化、自主防資機材整備、地域防災拠点整備	4,895千円	1,947千円

3. 消防

消防関係の補助事業には、国庫補助事業として、消防防災施設整備費補助金、緊急消防援助隊設備整備費補助金等があります。

叙勲・表彰関係では、市町や本庁と連携し、春秋叙勲、危険業務従事者叙勲、総務大臣表彰、消防庁長官表彰、県知事定例表彰、日本消防協会表彰、県消防協会表彰の照会、とりまとめ、推薦などの業務を行っています。

西牟婁地域消防協会（任意団体）は、西牟婁振興局長と西牟婁郡三町の町長及び消防団長で構成されており、その活動としては2年に1回開催される、ポンプ操法の綺麗さやタイムを競う消防操法大会への出場や、消防操法大会が開催されない年には県外にある消防施設への視察研修を実施しています。また、西牟婁郡三町の消防功労者に対して西牟婁地域消防協会会長表彰の授与や白浜警察署と協力して年末特別警戒の激励なども実施しています。会長は振興局長となっています。

<消防防災施設整備費補助金実績>

年度	市町名	補助額	内容
令和3年度	田辺市	5,486千円	耐震性貯水槽の整備事業（新庄町、栗栖川）
令和4年度			
令和5年度	田辺市	5,486千円	耐震性貯水槽の整備事業（長野、鮎川）

※令和6年度より市町村から直接危機管理消防課へ提出。

<緊急消防援助隊設備整備費補助金実績>

過去3年間管内実績なし。

※令和6年度より市町村から直接危機管理消防課へ提出。

4. 危機管理

和歌山県危機管理計画が対象とする危機事象は、県民の社会経済活動や日常生活に重大な影響を及ぼす緊急事態や、県の行政運営に重大な支障をもたらす突発的な事故等です。

計画では、広報課長、各部の局長、会計局長、各振興局長、教育委員会の各局長が、危機管理を統括する「危機管理責任者」とされています。

また、危機管理責任者を補佐し、危機管理体制の確立を推進するため、各振興局においては地域づくり部長等が「危機管理担当員」とされています。

和歌山県地域防災計画（自然災害、重大事故）など個別に計画があるものや個別の危機事象への対応は、担当の各部署が責任を持って対応することとなっていますが、想定にない事案及び組織横断的視点や総合調整機能が必要な事案については、和歌山県危機管理計画によって対処することになっており、令和2年2月に「新型コロナウイルス感染症に係る現地対策本部」を計画に基づいて設置し、対応にあたりました。

県職員の防災体制表（西牟婁管内）

（令和6年度版） R6. 4. 1～R7. 3. 31

☆職員の警戒及び配備体制等発令の基準

（注）各機関連絡網または職員参集メールにより体制発令の連絡があるが、下線部は連絡を待つことなく、各事象の発生を覚知した職員は自主参集すること。

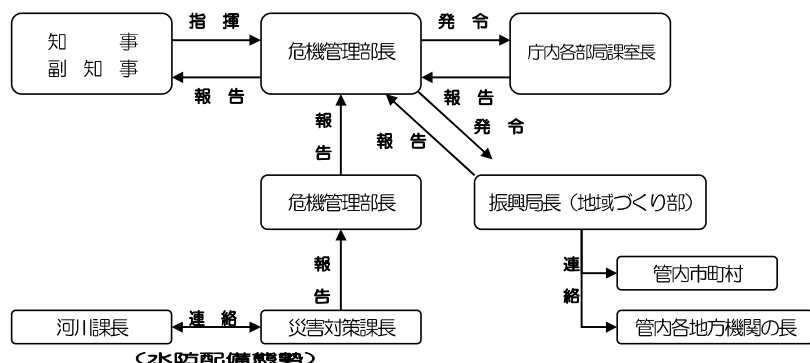
区分	地震・津波	風水害等	西牟婁管内 動員配備人員
危機管理局による 情報収集体制	① 地震が発生し、 <u>県外で震度6弱以上を記録したとき。</u>	① <u>波浪警報など、警戒体制及び配備体制の発令基準に該当しない警報が発表されたとき。</u> ② 「線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ」が県内に発表されたとき。	振興局及び各地方 機関の必要人数
警戒体制	① 地震が発生し、管内で <u>震度4</u> を記録したとき。 ② 和歌山県に <u>津波注意報</u> が発表されたとき。 ③ 危機管理部長が必要と認めたとき。	① 管内に <u>大雨、洪水又は高潮のいずれかの警報</u> が発表されたとき。 ② 田辺市・西牟婁郡を所管する建設部に <u>水防配備態勢1号</u> が発令されたとき。 ③ 危機管理部長が必要と認めたとき。（台風接近のため厳重な警戒が必要なとき。）	
配備体制	① 危機管理部長が必要と認めたとき。 （地震による重大な二次災害が発生するおそれがあると認められるとき。）	① 管内に <u>暴風かつ大雨警報</u> が発表されたとき。 ② 管内に <u>高潮特別警報</u> が発表されたとき。 ③ 田辺市・西牟婁郡を所管する建設部に <u>水防配備態勢2号</u> が発令されたとき。 ④ 「顕著な大雨に関する気象情報」が県内に発表されたとき。 ⑤ 危機管理部長が必要と認めたとき。（台風又は線状降水帯等により重大な災害が発生するおそれがあると認められるとき。）	同上
災害対策本部 非常体制1号	① 和歌山県に <u>津波警報</u> が発表されたとき。 ② 地震が発生し、県内で <u>震度5弱又は5強</u> を記録したとき。 ③ リアルタイム地震・津波関連情報表示システムにより、 <u>津波からの避難を呼びかける緊急速報メール</u> が配信されたとき。 ④ <u>南海トラフ地震継続情報（調査中）</u> が発表されたとき。 ⑤ 知事が必要と認めたとき。（災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用をしなければならぬような災害が予想される時。）	① 管内に <u>大雨、暴風、波浪、暴風雪又は大雪のいずれかの特別警報</u> が発表されたとき。 ② 田辺市・西牟婁郡を所管する建設部に <u>水防配備態勢3号</u> が発令されたとき。 ③ 知事が必要と認めたとき。（災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用をしなければならぬような災害が予想される時。）	同上
災害対策本部 非常体制2号	① 和歌山県に <u>大津波警報</u> が発表されたとき。 ② 地震が発生し、県内で <u>震度6弱以上</u> を記録したとき。 ③ <u>南海トラフ地震継続情報（巨大地震注意）又は南海トラフ地震継続情報（巨大地震警戒）</u> が発表されたとき。 ④ 知事が必要と認めたとき。	① <u>知事が必要と認めたとき。</u> 例・災害救助法の適用を必要とする災害が発生したとき。 ・大規模事故等が発生したとき。 ・その他の災害が発生したとき。	全職員 （初期）

☆職員の警戒及び配備体制等の担当機関（西牟婁）

（注）体制発令の基準となる事象がなくなった場合においても、発令を継続するものとし、危機管理官が体制の継続を不要と認めた時に発令を解除するものとします。

体制の種類	担当機関名（地震・津波）	担当機関名（風水害等）
警戒体制	地或づくり部、建設部	地或づくり部、建設部
配備体制	上記（警戒体制）を含め 健康福祉部、農林水産振興部、紀南児童相談所、田辺産業技術専門学院、 林業試験場、農林大学校林業研修部	上記（警戒体制）を含め 健康福祉部、農林水産振興部、紀南児童相談所、田辺産業技術専門学院、 林業試験場、農林大学校林業研修部
災害対策本部 非常体制	1号 上記（配備体制）を含め 紀南県税事務所、畜産試験場、紀南家畜保健衛生所、 紀南教育事務所、教育センター学びの丘・紀南図書館	上記（配備体制）を含め 紀南県税事務所、畜産試験場、紀南家畜保健衛生所、 紀南教育事務所、教育センター学びの丘・紀南図書館
	2号 上記を含め 消費生活センター紀南支所、世界遺産センター、検査・技術支援課分室、すべての機関の全職員が参集する。	

☆職員の警戒及び配備体制の指揮系統



職員への対応

災害対策は、誰かがやってくれるものではありません。一人ひとりの積み重ねが大きな力となって実現されるのです。

- ・県民の生命、身体及び財産を守るのは、職員一人ひとりの働きにかかっています。
- ・応急対策は、時間との勝負。あわてず、的確に処理しましょう。
- ・災害時に積極性を欠いた職員は、大きな被害につながりかねません。
- ・他の部局、外部の防災関係機関との連携を密にし、協力しあって災害対策にあたります。

○産業振興グループ

1. 商工業

商工業の概要

田辺・西牟婁地方は、農業、水産業が盛んで、特に梅は隣接するみなべ町と共に日本一の産地を形成しているため「梅干し」の加工業者が多く、また「なんば焼き」、「魚の干物」等の水産加工業者も海岸部市町に多く見られます。

また、観光地（旧白浜町、旧龍神村、旧本宮町）を多く抱えているためサービス業に従事される方々も多くみられます。

（1）商工会・商工会議所

商工会等は、商工会法及び商工会議所法に基づき市町村（合併前）の行政区域ごとにその地区内の商工業者を会員として設立された地域組織であり、会員相互の利益と地域経済の向上発展を目的として活動を行っています。

（2）小規模事業経営支援事業

地域経済社会の形成に大きな役割を果たしている小規模事業者(※)の振興と安定を図るため、小規模事業者の経営又は技術の改善発達に係る指導に関し、経営指導員等の配置や記帳の機械化、情報化の推進並びに広域的、専門的な指導活動を実施する商工会及び商工会議所に対して県から補助金を交付して小規模事業経営支援事業を実施しています。

※ 小規模事業者とは、商工会法第2条に規定する商工業者で、常時使用する従業員数が20人（商業又はサービス業に属する事業を主たる事業として営む者については5人）以下のものをいう。

【管内商工会等の概況】(令和6年4月現在)※「会頭・会長名」はR6.6現在「商工業者数」はR3調査、

	会頭・ 会長名	商工業 者数	会員数	事務 局長	経営 指導 員	経営 支援 員	記帳 指導 員	一般 職員
田辺商工会議所	金谷清道	3,099	1,996	1	5	2	2	4
牟婁商工会	不動正巳	370	241	1	2	1	1	1
龍神村商工会	伊藤研治	183	156	—	1	1	1	—
中辺路町商工会	出水豊数	144	126	—	1	1	1	—
大塔村商工会	陸平輝昭	95	92	—	1	1	1	1
本宮町商工会	淵上太志	167	125	1	1	1	1	1
白浜町商工会	岩橋 修	765	594	1	3	1	1	—
日置川町商工会	森田清郎	139	158	1	1	1	1	1
上富田町商工会	岩崎 央	536	394	1	2	1	1	1
すさみ町商工会	稲葉 久	221	226	—	2	1	1	1
合 計		5,719	4,108	6	19	11	11	10

【商工業者数】

※令和3年経済センサス活動調査数値〈和歌山県〉

産業大分類別	田辺市	白浜町	上富田町	すさみ町	和歌山県
農業、林業、漁業	32	7	6	2	308
鉱業、採石業、砂利採取業	1	—	—	—	7
建設業	413	105	79	37	4,235
製造業	299	56	48	24	3,526
電気・ガス、熱供給・水道	8	2	3	—	68
情報通信業	26	7	—	1	268
運輸業、郵便業	73	15	18	4	922
卸売業、小売業	1,183	214	148	51	11,385
金融業、保険業	88	5	6	3	723
不動産、物品賃貸業	226	36	21	9	2,787
学術研究、専門・技術サービス	152	33	22	1	1,634
宿泊業、飲食サービス	659	264	63	30	5,221
生活関連サービス、娯楽業	428	82	53	38	3,959
教育、学習支援業	118	13	16	5	1,362
医療、福祉	385	80	77	12	4,361
複合サービス業	52	12	6	5	436
サービス業	343	91	44	24	4,107
計	4,486	1,022	610	246	45,309

2. 県産品のブランド推進

県内各産地や業界との連携を強化し、オール和歌山での販売促進活動を展開します。

プレミア和歌山

県外、さらには海外へ積極的に販売促進を図っていくために、優れた県産品を「プレミア和歌山」に選定・推奨することで、和歌山県産品のブランドイメージの確立を図っています。

また、「プレミア和歌山」に対する、市場や消費者の評価を商品の品質向上や新製品開発に結びつけることで、県内産業の発展促進を目指しています。

現在、各方面でご活躍の7名の方に「プレミア和歌山パートナー」に就任いただき、「プレミア和歌山」の魅力の発信にご協力頂いている他、首都圏でのPR事業や販売促進事業を展開しています。

例年審査委員会において、特に優れていると認められた商品を、「特別賞」や「奨励賞」に選定しており、過去において西牟婁管内では、令和元年度に「紀州南高梅ひつまぶし」（太田商店）、平成30年度に「熊野本宮・釜餅（よもぎ）」（(有)熊野鼓動）が審査委員特別賞を受賞したほか、令和5年度に「JAPANESE CRAFT LIQUEUR くまの」（プラム食品（株））、令和2年度に「KOGUCHI スツール」（木の工房 樫）が審査委員奨励賞を受賞しています。



【審査委員特別賞】

（令和元年度）



紀州南高梅ひつまぶし

（平成30年度）



熊野本宮・釜餅（よもぎ）

【審査委員奨励賞】

（令和5年度）



JAPANESE CRAFT LIQUEUR くまの

（令和2年度）



KOGUCHI スツール

◆令和6年4月1日現在の認定数

449事業者、1333商品（西牟婁管内：76事業者、232商品）

3. 観光

観光の概要

田辺・西牟婁地方は、「日本三大古湯」の白浜温泉、「日本三美人の湯」の龍神温泉や世界遺産に登録された「つぼ湯」がある湯の峰温泉など多くの温泉地を有する優れた保養地であり、多彩な歴史、文化とそれらを育み続けたすばらしい山、川、海の自然が残る風光明媚な地域です。

黒潮あろう太平洋の雄大な海岸美は、白浜町での夏場のリゾート観光や田辺市・すさみ町でのマリンスポーツ等の体験型観光に適しています。

また、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」では、熊野の歴史や文化を感じる景観や伝承など見どころが特に多い中辺路、枯木灘や熊野灘といった太平洋を望む雄大な景観が特徴的な大辺路など参詣道によって異なる楽しみ方があり、時代を超えた神秘の世界に包まれ、体と心をリフレッシュできます。

これら地域の魅力をより多くの観光客に楽しんでいただくため、各種取り組みを実施しています。

(1) 県全体の取り組みについて

・聖地リゾート！和歌山キャンペーン

平成26年に実施した「和歌山デスティネーションキャンペーン（以下、わかやまDC）」の成果をさらに充実させるとともに、わかやまDCを契機により一層深まった県内市町村・観光関係団体、JR等との関係及び一体感を継続し、県全域でわかやまDCの大きな目的である「持続可能な観光地づくり」を推進していくために、平成27年に「和みわかやまキャンペーン推進協議会」を設立し、令和6年に「聖地リゾート！和歌山キャンペーン推進協議会」に名称を変更し、以降取組を継続しています。

〔設立時期〕 平成27年5月27日

〔構成団体〕 県、県観光連盟、市町村・観光関係団体、西日本旅客鉄道（株）和歌山支社、南海電気鉄道（株）和歌山電鐵（株）、紀州鉄道（株） など 80団体

〔実施内容〕

- ・メディア、旅行会社等への情報発信事業
- ・地域観光素材開発支援
- ・聖地リゾート！和歌山モバイルスタンプラリー

（令和5年度：県内297施設中、西牟婁管内53施設が参加）



・わかやま歴史物語

歴史・文化のストーリーに秘話やSNS映えスポット、食、温泉、体験などの観光資源を組み合わせた100の旅モデルを「わかやま歴史物語」としてまとめ、メディアや特設WEBサイトなどを活用し、和歌山県のもつ歴史的な価値や魅力を発信します。西牟婁管内では、闘雞神社の源平合戦の逸話や、湯の峰温泉の小栗判官伝説をはじめとした25のストーリーを周辺の観光スポットやグルメ等を組み合わせて紹介しています。また、お客様が歴史の舞台を気軽に楽しみながら周遊できるよう、スマートフォンのアプリによるスタンプラリーを実施しています。



「わかやま歴史物語」スタンプラリー冊子



「わかやま歴史物語」WEBサイト

・アウトドア観光

新型コロナウイルス感染症の流行以降、自然に触れ合うアウトドア志向が高まっているなか、こうした旅の変化をとらえ本県の豊かな自然を活かしたアクティビティやキャンプなどアウトドアのブランド力強化を図っています。

また、アクティビティ体験や、キャンプ場・グランピング施設のオンライン予約ができるポータルサイトを構築することにより、利用者の利便性向上と魅力発信を行っています。

西牟婁管内では、田辺市がアウトドア層だけでなく気軽に登山が楽しめる低山トラベルを切り口にした登山ルートを展開しています。また、すさみ町にあるキャンプノットは、日本最大級のキャンプ場予約サイト”なっぷ”において、西日本キャンプ場のロコミ投稿部門で2年連続1位を獲得するなどアウトドア観光の促進が図られています。



「わかやまほんまもん遊び」WEB サイト



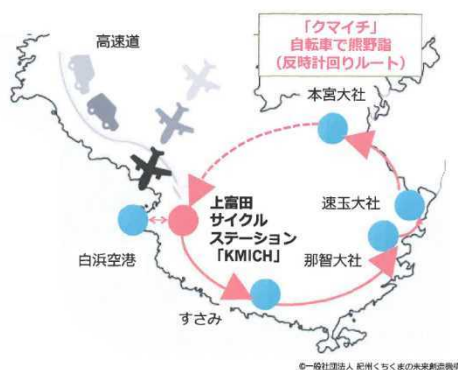
「わかやまほんまもんキャンプ」WEB サイト

・サイクリング王国わかやま

県内全域に整備された800 kmを超えるサイクリング推奨ルートと絶景・食・温泉などを組み合わせることで、無限大のサイクリング旅が楽しめる、まさに「和歌山がサイクリングの最適地」というイメージ定着を図っています。

また、サイクリストに優しい宿泊施設の認定やサイクルステーションの拡大、公式WEBサイトによる発信、県内サイクリングイベントへの支援、モバイルスタンプラリーの実施など、幅広いニーズに応えたサイクリング環境を提供します。

西牟婁管内では、自転車をそのまま車内に持ち込めるサービス(サイクルトレイン)の実施や、すさみ町サイクリング大会実行委員会が主催するサイクリングイベント”RIDE ON SUSAMI”が開催されています。また、自転車による熊野詣『クマイチ』のブランド化を目指し、紀南地域の市町村等により構成された紀南エリアサイクルツーリズム協議会を中心として、プロモーション活動等を実施しています。



「クマイチ」ルートマップ



「モバイルスタンプラリー」WEB サイト

・ほんまもん体験

自然、農林漁業や歴史文化、暮らしなどの地域資源を活かした体験型観光「ほんまもん体験」は約400のメニューがあり、これらを活用して和歌山を売り出します。

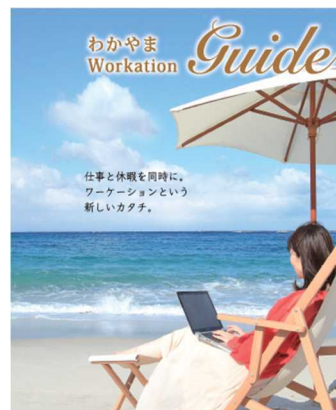
また、「ほんまもん体験」を活用した修学・教育旅行は、県外の児童・生徒が「和歌山の魅力」に触れる絶好の機会であり、将来、和歌山を再訪する潜在的なお客さまを増加させるツールとして積極的な誘致活動を展開しています。

西牟婁管内では、日置川地域を中心に南紀州交流公社が、平成20年8月から”ほんまもん体験”と”民泊”による教育旅行受入れを開始し、16年間、首都圏の大規模校やアジアの学生等との交流の拡大と、地域の魅力発信や活性化に繋げています。

・ワーケーション

全国の自治体に先駆けて、平成29年から「ワーケーション（ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を掛け合わせた造語）」を推進しており、企業側と受け入れ側の橋渡しを行うなど全県的な受入れ体制の整備を進めており、ワーケーションで和歌山を訪れる人や企業向けにサービスを提供する事業者や団体を「Wakayama Workation Networks」として公表しています。

西牟婁管内には、充実した設備を備えたワークスペースや個性豊かな宿泊施設、歴史的価値のある世界遺産などワーケーションに適した環境が揃っています。



（2）南紀エリア独自の取り組みについて

田辺市・西牟婁郡4市町の行政や観光協会などでつくる「南紀エリア観光推進実行委員会」（事務局・地域づくり課）では管内の広域観光の推進に取り組んでいます。

地域の実情やニーズを吸い上げて広域観光の企画、立案を行い、南紀エリアのPRや観光客誘致の取組を進めています。

【参考：過去3年間の取組内容及び今年度事業】※ 〈 〉内は事業費

■令和3年度

- ・「南紀エリア PHOTOBOOK #とっておきの南紀エリア」作成〈約84万円〉
Instagramで写真を募集した中から実行委員会内で選定し、紙媒体及びデジタル版のフォトブックを作成
- ・「フォトブックとともにめぐる!」南紀エリアデジタルスタンプラリーの実施〈約18万円〉
フォトブック発行記念として、非接触型のデジタルスタンプラリーを実施し、観光客の回遊を促進
- ・観光PR資材作成〈約16万円〉
観光プロモーションの際に活用するPR資材として、テーブルクロス・のぼり旗・ジャケットを作成
- ・観光プロモーション〈約8万円〉
県内イベントにブース出店し、広域観光及び特産物をPR



南紀エリア PHOTO BOOK



デジタルスタンプラリー



観光PR資材



観光プロモーション

■令和4年度

- ・南紀エリアオフ会&プレスツアーの開催〈約70万円〉
Instagramのフォロワーを対象とした新定番体感ツアーと題したオフ会と首都圏メディアを対象に「アウトドア」をテーマにしたプレスツアーを開催し、南紀エリアの魅力を効果的に発信
- ・「#とっておきの南紀エリア リポストキャンペーン」〈約22万円〉
「#とっておきの南紀エリア」を付けてInstagramに投稿されたものをリポスト、また毎月優秀作品を選定し特産品をプレゼントし、Instagramを効果的な広報ツールとして活用
- ・観光プロモーション〈約29万円〉
県内外のイベントにブース出展し、広域観光や特産物のPRを実施



オフ会（ひき岩群）



プレスツアー（すさみ海水浴場）



リポストキャンペーン



観光プロモーション

■令和5年度

- ・「海の熊野古道 大辺路」増刷・改訂〈約32万円〉
既存のパンフレットをリニューアルし、熊野古道大辺路への更なる誘客を促進
- ・インフルエンサーによる魅力発信(周遊ツアーの実施)〈約85万円〉
アウトドア雑誌『ランドネ』の編集者・KOLに南紀エリアに実際にお越しいただき、各SNSやデジタル雑誌にて南紀エリアの魅力を発信してもらい、閑散期の集客・周遊促進・滞在時間の延長を促進
- ・観光プロモーション〈約12万円〉
県外イベントにブース出展し広域観光をPR



「海の熊野古道 大辺路」



インフルエンサーツアー



観光プロモーション



■令和6年度（案）

- ・南紀エリア周遊ウォークイベント〈43万円〉
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年を記念したウォークイベント
- ・南紀エリア広域観光パンフレットの作成〈66万円〉
南紀エリア全体の魅力を一度に伝えることができるパンフレットを作成し、広域周遊を促進
- ・観光プロモーション〈15万円〉
県内外でのイベントに出展し広域観光をPR

観光客推計

(単位：人)

市町村名	旧市町村名	総 数		宿泊客		日帰客	
			前年対比		前年対比		前年対比
田辺市	旧田辺市	896,785	121.8%	181,200	108.8%	715,585	125.6%
	旧龍神村	352,249	95.2%	40,261	99.0%	311,988	94.7%
	旧中辺路町	256,293	132.8%	6,223	106.4%	250,070	133.6%
	旧大塔村	37,607	95.4%	2,523	81.7%	35,084	96.6%
	旧本宮町	1,277,265	102.5%	135,265	92.8%	1,142,000	100.0%
	計	2,820,199	109.1%	365,472	101.0%	2,454,727	108.4%
白浜町	旧白浜町	2,956,194	103.6%	1,655,250	105.4%	1,300,944	101.5%
	旧日置川町	189,250	100.1%	22,054	139.6%	167,196	96.5%
	計	3,145,444	103.4%	1,677,304	105.7%	1,468,140	100.9%
上富田町		262,583	107.7%	25,629	111.0%	236,954	107.4%
すさみ町		935,467	89.1%	36,903	80.6%	898,564	89.4%
計		7,163,693	103.5%	2,105,308	106.5%	5,058,385	102.3%
県 計		31,938,000	109.6%	4,919,000	114.3%	27,019,000	108.8%

[参考数値：令和5年観光客動態調査速報値]

(3) 南紀白浜空港の利用促進

南紀白浜空港利用促進実行委員会では、県内唯一の空港である南紀白浜空港（愛称：熊野白浜リゾート空港）を利用させていただくため、空の日フェスタでのPR活動などにより南紀白浜空港利用促進に取り組んでいます。

また、平成31年4月1日より株式会社南紀白浜エアポートによる空港の民間運営が開始され、機材の大型化や運賃の見直しによる値下げを行ってきました。令和3年度に国際線ターミナルが整備されるなど旅客数増加に向け、様々な取組を進めています。

南紀白浜空港利用状況(令和5年度)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京→白浜	9,528人 (124.11%)	10,713人 (121.48%)	8,584人 (116.88%)	10,195人 (99.61%)	11,413人 (91.11%)	10,772人 (118.30%)
白浜→東京	9,067人 (133.55%)	10,748人 (114.17%)	8,428人 (119.48%)	9,511人 (100.60%)	11,703人 (93.04%)	10,491人 (119.58%)
計	18,595人 (128.54%)	21,461人 (117.70%)	17,012人 (118.16%)	19,706人 (100.09%)	23,116人 (92.08%)	21,263人 (118.93%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
東京→白浜	11,074人 (105.38%)	10,881人 (99.71%)	8,950人 (89.69%)	6,645人 (82.26%)	8,223人 (79.32%)	9,397人 (79.71%)	116,375人 (99.18%)
白浜→東京	10,868人 (105.78%)	10,873人 (103.80%)	7,650人 (86.39%)	7,282人 (78.44%)	7,883人 (79.59%)	8,824人 (79.33%)	113,328人 (99.43%)
計	21,942人 (105.58%)	21,754人 (101.71%)	16,600人 (88.14%)	13,927人 (80.22%)	16,106人 (79.45%)	18,221人 (79.53%)	229,703人 (99.30%)

※ () は前年対比

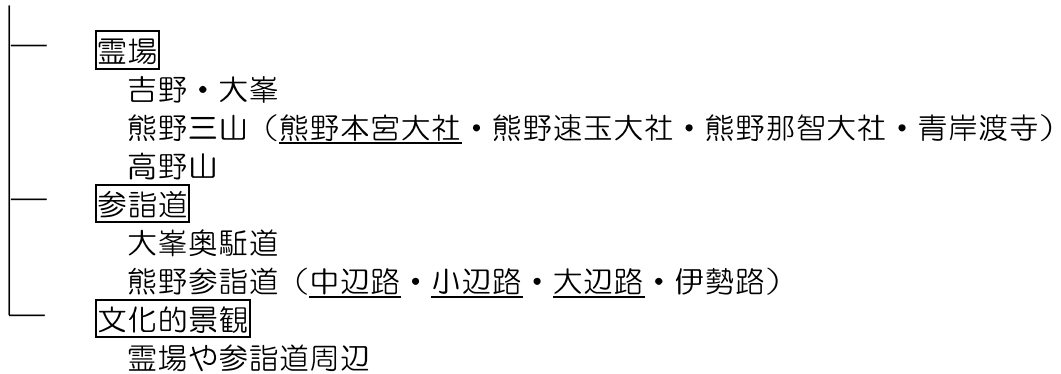
4. 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の概況

世界遺産とは、遺跡や文化的な価値の高い構造物、貴重な自然環境を保護・保全し、人類にとってかけがえのない共通の財産を後世に継承していくことを目的に、世界遺産条約（日本は1992年条約締結）に基づき、世界遺産リストに記載されている物件です。

文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類があり、世界では1,000件を超え、国内では25件が登録(R6.6月時点)されています。

『紀伊山地の霊場と参詣道』は、三重、奈良、和歌山の三県にまたがる「紀伊山地の自然」がなければ成立しなかった「山岳霊場」と「参詣道」、及び周囲を取り巻く「文化的景観」が主役であり、世界でも類を見ない資産として価値の高いものであり、平成16年に世界文化遺産として認定され、その後の調査で見つかった山中の区間や保全体制が整った神社の敷地などが、平成28年に追加登録されました。

『紀伊山地の霊場と参詣道』（※下線箇所は、西牟婁管内を示す）



追加登録地点(朱書箇所)



和歌山県の取組

世界遺産の保存と活用の活動拠点として、和歌山県世界遺産センターを田辺市本宮町に設置し、各世界遺産地域協議会（世界遺産熊野地域協議会、世界遺産大辺路地域協議会）や住民、世界遺産マスター等と協働して、古道の維持補修活動や語り部講習会等による受け入れ体制の整備に取り組んでいます。

(1) 和歌山県世界遺産条例（平成17年7月1日施行）

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を人類のかけがえない宝として引き継ぎ、その意義を国内外に発信し、私たち人類の文化や自然環境の重要性を訴えていくことが大切です。このため全国に先駆けて条例を制定しました。

- 和歌山県世界遺産の日 7月7日
- 和歌山県世界遺産週間 7月1日～7日

(2) 世界遺産マスター

平成18年度より世界遺産の周辺環境を含めた資産の保存と適切な活用に民間の活力を活かし、官民が一体となってより一層効果的な保全活動をするために、世界遺産マスター（令和6年3月現在131人）を認定しています。

(3) 世界遺産関係関連事業（令和5年度）

■県世界遺産協議会（和歌山県、関係市町、伊都・西牟婁・東牟婁振興局）

- ・情報発信事業

…ホームページにて、「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要や資産を紹介するとともに、保全の重要性について発信（R5 閲覧数：161,174回）

- 学術研究資料収集事業
 - …世界遺産に登録されている資産等の価値を把握するため、また展示や学習機能を充実するため書籍を購入（購入 25 冊、寄贈 5 冊）
- 保存活用団体連携促進研修事業
 - …参詣道保存団体や語り部団体等を対象に参詣道の理解促進や団体の相互交流を促進
 - 〈実施概要〉
 - 日 時：令和5年 11 月 21 日(火)
 - 講 師：高野山大学密教文化研究所 受託研究員 木下浩良 氏
 - 演 題：巡礼者の聖地紀伊半島～高野山を中心として
 - 現地学習：高野参詣道の女人道など
 - 参加者数：123 名（20 団体／高野地域 25 名、熊野地域 50 名、大辺路地域 33 名、三重県 15 名）
- 世界遺産講座事業
 - …講演会等を通して、県民に世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の価値を広く啓発し、県民と一体となった保全と活用を進めるために、下記のとおりセミナー（全 2 回）を開催
 - 〈開催概要〉
 - 日 時：令和5年 10 月 1 日(日)／令和5年 10 月 29 日(日)
 - 場 所：天野地域交流センターゆずり葉／世界遺産熊野本宮館
 - 講 師：丹生都比売神社宮司 丹生晃市 氏／熊野本宮大社宮司 九鬼 家隆 氏
 - 演 題：丹生都比売神社と高野山に見る神仏融合の祈りのかたち／蘇りの熊野
 - 参加者：80 名／54 名
- 次世代育成事業：県内小中高校が現地で行う世界遺産教育の支援
 - …県内小中学校及び高等学校への学習を各地域の世界遺産マスターの協力のもと支援し、次世代の育成に取り組んだ。令和5年度は 25 校 931 名（うち管内は、8 校 327 名）が参加。
- 参詣道保全活動（道普請）普及啓発事業
 - …企業・団体の社会貢献活動や学校の教育活動等を活用し、多くの世界遺産保全についての理解を深めてもらうことを目的とした「道普請ウォーク」等（38 団体／計 42 回）を実施
- 事務局 和歌山県世界遺産センター

■大辺路地域協議会（白浜町、すさみ町、串本町、西牟婁・東牟婁振興局）

- 世界遺産学習支援事業
 - …周参見小学校の 6 年生を対象とした長井坂ウォークや世界遺産学習全国サミット in 田辺に参加する周参見小学校や日置中学校を支援
- 大辺路の保全・整備活動
 - …企業の CSR としての道普請の受入れ、看板設置や危険個所の保全作業
- 事務局 すさみ町教育委員会

■熊野地域協議会（田辺市、新宮市、上富田町、那智勝浦町、熊野三山、西牟婁・東牟婁振興局）

- 啓発用除菌ウェットティッシュ（10,000 個）の作成
- 事務局 新宮市教育委員会

5. 南紀熊野ジオパークの取組

南紀熊野ジオパークは、和歌山県南部地域において、世界ジオパークネットワークが定めるガイドラインに基づき、地質及び地形とそれに由来する自然環境、文化資源等の存在について普及啓発するとともにそれらを活用した持続可能な地域の発展を目指しています。

平成26年8月28日に日本ジオパークに認定、平成31年1月に再認定され（4年に1度）、令和元年7月27日に串本町潮岬において南紀熊野ジオパークセンターを開館しました。

令和4年9月、ユネスコ世界ジオパークの国内推薦は見送られたものの、日本ジオパークとして再認定されました（2回目の再認定）。

現在、世界ジオパーク認定に向けて、ジオサイト説明板の改善、マップの作成など課題の解決にあたりながら観光資源としての活用や保全、整備、その他事業に取り組んでいます。

●県内ジオサイト数：107（西牟婁管内数：25） ※令和6年4月現在

○南紀熊野ジオパークガイド

貴重な地質や地形を有する「南紀熊野ジオパーク」エリア（新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町及び奈良県十津川村の一部）では、地域の宝ものを再発見し、保全し、地域活性や教育や観光等に活かそうという取り組みを行っています。

南紀熊野には、大地の地形・地質の遺産をはじめ、自然環境や熊野信仰などに関する地域の宝ものが豊富に存在しており、これらの南紀熊野の大地と自然のすばらしさ及び大地に関わる人々の文化や暮らしを伝えるため、ジオパークガイドを養成しています。




平成25年度に「南紀熊野ジオパークガイドの会（会長：伊藤幸子氏）」が設立され、現在までに159名の方がガイド講座を修了し、94名の方が南紀熊野ジオパークの案内役として活躍しています。

○南紀熊野ジオ興しチーム

「南紀熊野ジオ興しチーム」は、南紀熊野ジオパークエリアを東（旧新宮市、那智勝浦町、太地町）、西（白浜町、上富田町、すさみ町）、南（串本町、古座川町）、北（北山村、旧熊野川町、奈良県十津川村の一部）の4エリアに分け、ジオパークで地域を盛り上げたいという民産学官のメンバーが集まったチームです。

西エリアでは、現在65名（他エリアとの重複含む）のガイドの方が活躍されており、ジオツアーの実施やジオパークフェスタでの出展等、精力的に活動しています。

○西エリアの主なジオサイト紹介

ジオサイト名	自治体名	説明
円月島	白浜町	円月島は、臨海浦に浮かぶ南北130m、東西35m、高さ25mの小島（正式名称は高嶋）からなる。島全体が北側の番所の崎から続く比較的新しい礫岩でできており、中央部には、海食洞門がぽっかりとあいている。夕日が海食洞門に重なる夕景には風情がある。
		
救馬溪	上富田町	風化や浸食に強い厚い砂岩礫岩層からなる断崖が形成されており、その上に救馬溪観音が建てられている。また、救馬溪には、役行者が開いたとされる修行場があり、小栗判官の伝説も残されている。
		
フェニックス褶曲	すさみ	かつての海溝に堆積した牟婁付加体の砂岩泥岩互層が海洋プレート沈み込みによって付加体となる時に形成された。砂岩層が完全に固まる前に陸側に押し付けられ折りたたまれたもので、地層は全体として上下が逆さまになっている。
		

6. スポーツ合宿誘致

田辺市、印南町、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町、串本町及び那智勝浦町の8市町で組織する『南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会』（事務局・地域づくり課）では、紀の国わかやま国体を機に整備・改修された各種スポーツ施設等の効率的な運用を図るため、スポーツ等合宿やスポーツ大会誘致を推進し、南紀エリアの活性化につなげる取組を行っています。

○令和5年度の取組

- ・助成金チラシの作成
- ・専門家にプロモーション業務を委託
- ・DM送付によるプロモーション活動（444校 3,082部活）
- ・各種助成金制度の運用
- ・誘致プロモーション動画の作成（那智勝浦町木戸浦グラウンド、田辺市スポーツジム）
- ・ビーチアルティメット大会における運営協力 等

○令和5年度の主な誘致団体

- ・大学・社会人強豪チームなどの合宿・大会誘致に成功

競技	主な誘致団体
野球	第13回全国大学女子硬式野球選手権大会
	阪神タイガース Women
	SUBARU硬式野球部
	ポニーリーグ全日本選抜関西予選
	西濃運輸硬式野球部
サッカー	FC大阪
	ガイナレ鳥取
	京都サンガF.C.
	松本山雅FC
ラグビー	高校ラグビー代表U17
	高校ラグビー代表U19
	三重HONDAHEAT
	7人制韓国代表
	清水建設江東ブルーシャークス
バレー	龍神植田杯高校生バレーボール大会
アルティメット	全日本ビーチアルティメット選手権
弓道	近畿大学 弓道部



助成金チラシ



全日本大学女子硬式野球選手権大会

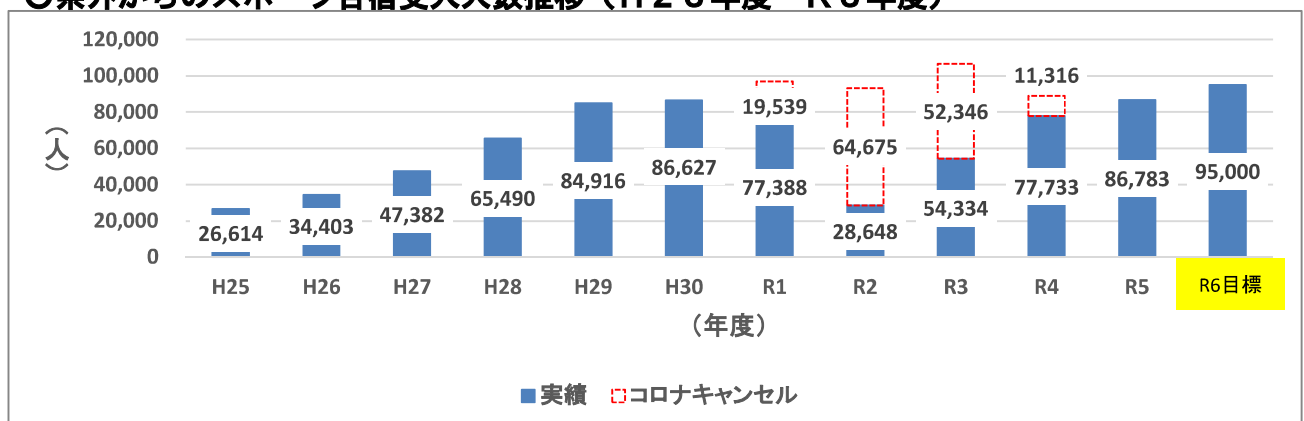


ラグビーU19日本代表合宿



京都サンガF.C.合宿

○県外からのスポーツ合宿受入人数推移（H25年度～R5年度）



※H26年度からみなべ町、H28年度から串本町、R4年度から印南町及び那智勝浦町の実績を含む

7. 大阪・関西万博

○多目的エリアへの出展

関西パビリオンに隣接する多目的エリアにおいて、各振興局が主体となって地域の観光PRや物販などを行います。

西牟婁振興局では、南紀エリア観光推進実行委員会等が体験や物販ブースを出展する予定です。

○わかやま万博共創チャレンジ事業（地域魅力創出プロジェクト）

令和6年5月より、県内大学・高専・専門学校など、全11校で構成する高等教育共創コンソーシアム和歌山（事務局：和歌山大学）に所属する学生と各振興局が連携し、地域の魅力創出や地域課題解決に向けて取り組む「わかやま万博共創チャレンジ事業（地域魅力創出プロジェクト）」を開始しました。

この取組は、県内で学ぶ学生が主体的に持続可能な地域の実現について考える契機になるとともに、取組を通して、地域と学生の連携が強まることにより、万博後も地域の魅力を創出する取組が継続されることを目的としており、参加した学生たちは、7つの振興局エリアで7つの共創チャレンジを創出し、大阪・関西万博会場（TEAM EXPO パビリオン）で発表することを目指します。

西牟婁振興局のテーマは「熊野古道 大辺路への誘客促進」となっており、田辺・西牟婁エリアへの誘客促進やリピーターの確保に向けて活動を行っています。

【闘鶏神社（田辺市）】



【安居の渡し（白浜町）】



【山王橋（上富田町）】



【熊野古道から望む太平洋（すさみ町）】



この事務概要に掲載している内容は、令和6年8月現在の情報です。

